

手稲山口 地域協議会だより

Vol. 12

令和 7 年 3 月発行
手稲山口地域協議会事務局

地域のみなさまと一緒にこれからの手稲山口地区を考えていくため、手稲山口地域協議会の活動をお知らせします

第12回地域協議会を開催しました！

2月27日(木)に第12回地域協議会を開催しました。山口西・山口東町内会にお住まいの皆様と、地域の学校や事業所の関係者の皆様もあわせて11名にご参加いただきました。

部会と地域アンケート結果概要の報告の後、受入地活用の方向性(案)について、グループに分かれて意見交換を行いました。また、鉄道・運輸機構から、受入地の工事の状況と今後の予定などについて説明しました。

話し合いの内容

- 1 振り返りと進捗報告
 - ・地域づくり部会の報告
 - ・受入地の活用に向けた地域アンケートの報告
- 2 受入地活用の方向性(案)について
- 3 意見交換
- 4 工事の現状と今後の見通し

協議会でいただいたご意見は裏面へ

地域づくり部会の報告

1月29日(水)に第5回地域づくり部会を開催し、今後の地域づくりと、受入地の活用に向けた意見交換を行いました。

【地域づくりに関する意見】

- ・山口緑地でのマルシェイベントは、場所的に集客が大変そうだが、お試して1回やってみるのは良いかもしれない
- ・地域の課題として、地域交通のあり方などの検討が必要

【受入地に関する意見】

視点A：自然に囲まれた景色を楽しみ、休憩できる

- ・植物の見どころは人が集まり地域の魅力となる
- ・類似する場所があるため、特色を持たせる必要がある

視点B：家族や仲間と集い、スポーツや遊びを楽しむ

- ・サッカー場ができれば、中高生が練習や合宿で使える

視点C：地域の魅力にふれる

- ・農家が直売所を必要としているか疑問。7月から9月は忙しく直売所まで手が回らない

視点D：多くの人が訪れ、滞在できる

- ・アウトドア企業等の民間参入により活用をできると良い

受入地の活用に向けた地域アンケートの報告

受入地の活用について、1月に地域の皆様のご意見をいただくアンケートを実施しました。手稲山口地区へ全戸配布し、はがき・WEBにて16件の回答(山口西:7, 山口東:7, 不明2)をいただきました。

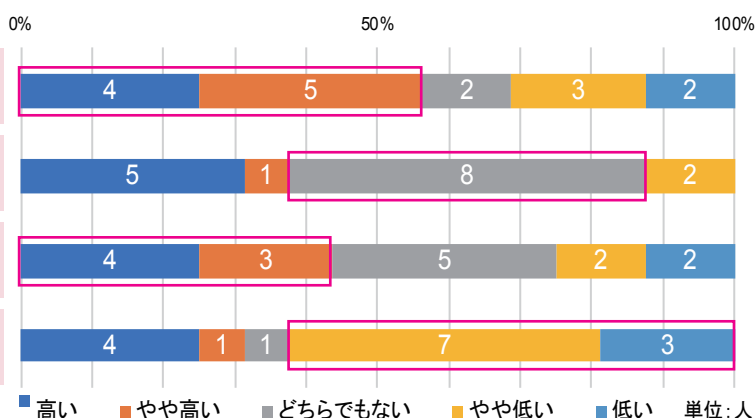
【4つの視点について、重要度とその理由】

視点A 「高い」「やや高い」の合計が最も多く、「休憩場所」を望む意見があった

視点B 「どちらでもない」が最も多く、冬期の利用について意見や懸念があった

視点C 「高い」「やや高い」の合計が多く、農家の後継者不足を懸念する意見があった

視点D 「低い」「やや低い」の合計が最も多く、治安悪化を懸念する意見があった



● 第12回 地域協議会の主なご意見

1 受入地活用の方向性（案）について

協議会における検討や市が実施した民間企業ヒアリング、地域アンケート結果等から、事務局において「受入地活用の方向性（案）」を整理しました。その内容を紹介した後、2つのグループに分かれて意見交換を行いました。

意見交換の内容をふまえ、事務局が修正案を作成し、次回の協議会で確認する予定です。

受入地活用の基本的な方向性（事務局から提案）

- ① 自然に囲まれた景色の中で、地域の魅力に触れることができる
- ② 訪れた人々が心地良い時間を過ごすことができる
- ③ 地域の暮らしを守りながら、新たな賑わいを創出することができる

＜受入地活用の視点＞

A 自然に囲まれた風景を楽しみ、休憩できる

例）植樹・植栽、芝生広場、駐車場

山並みや海を望む場所で、四季折々の景色を楽しみながら、ゆったりとした時間を過ごすことができる

B 家族や仲間と集い、スポーツや遊びを楽しむ

例）遊具広場、スポーツ広場、ドッグラン、冬の遊び場

広々とした場所で運動したり、子ども達が遊んだりして過ごすことができる

C 地域の魅力にふれる

例）農産物直売所、イベント広場、キッチンカーサイト

手稲山口の特産品である農産物や歴史文化など、地域の魅力に触れることができる

D 多くの人々が訪れ、滞在できる

例）キャンプカーサイト、キャンプ場

市内外から訪れた人々が滞在して、楽しい思い出をつくることできる

主な意見

【方向性に関する意見】

- ・ 3つの方向性で概ね良い
- ・ ここにしかないものがあり、ここを目指して多くの人が集まるようなスポットにしたい

【活用の視点についての意見】

視点A

- ・ SNS 映えするスポットや映画の撮影場所にするなど、何かの「聖地」にして人が集まると良い
- ・ 高齢者が見て楽しめるような、見栄えする花があると良い

視点C

- ・ 地域の企業で資金を出し合い運営に協力し、手稲山口の農産物の販売や供給ができると良い
- ・ 地域に負担がかかるのではなく、民間も含めて活性化して、農家にもプラスになる形が良い
- ・ 札幌で地域の魅力として農業を発信することは難しいが、これを機に考えていけると良い

視点D

- ・ キャンプ場があった場合に、飲酒による影響で交通事故が発生したり、治安が悪化したりすることは非常に大きな問題
- ・ 様々な人が来ることで、騒音や利用時間などの夜間の維持管理が難しい。光源による農作物への影響も心配

視点全体

- ・ まちづくりを点で考えるのではなく面で考えることが必要である
- ・ 視点全てを網羅することは難しいかもしれないが、外部の人だけでなく地域の人に喜ばれるものになると良い
- ・ 動物や人が勝手に入れないように、柵をつくるなど、管理をする必要がある

【地域づくりについての意見】

- ・ 受入地の活用だけではなく、手稲山口の地域づくりについてしっかり考えていく必要がある
- ・ 受入地の整備はぜひ先になるため、将来的なことも大事だが、できることを先にやった方が地元の人のためになる
- ・ 高齢化が進むと車の運転ができなくなる人が増えてくるため、地域を走る循環バスがあると良い
- ・ 農家の後継者が減っており、手稲山口の農業の将来が心配
- ・ 山口クラブの老朽化が課題だが、地域だけで対応することが難しいため、札幌市や鉄道・運輸機構にも協力してほしい

2 工事の現状と今後の見通し

事務局から工事の現状と今後の見通しについて説明しました。

「受入地活用の方向性（案）」及び「受入地の活用に向けた地域アンケート」の詳細は、札幌市のホームページ「手稲山口地域協議会」のページに「第12回地域協議会資料」として掲載しています▶

◆次回の協議会は令和7年6月頃の開催を予定しています



【お問い合わせ】 札幌市まちづくり政策局新幹線推進室新幹線推進担当課

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎5階 TEL: 011-211-2378